



1. 社員の平均年齢は38歳。10~30代の社員が約65%を占める。社員同士のコミュニケーションも活発で、和気あいあいとした雰囲気だ。2. トラックが故障なく安全に走ることは、顧客の稼働率を高めることにつながる。整備や修理も、地域の快適な暮らしを支える大切な仕事だ。3. 代表取締役社長の金尾泰明さん。近年社風づくりについての取り組みが評価され、道内で講演活動も行うように。

自動車の販売や整備・修理等を行い、日本の物流を支えるトラックの稼働をサポートしている。福利厚生に力を入れるようになった背景には、会社の経営方針が大きく関わっているという。教えてくれたのは、代表取締役社長の金尾泰明さんだ。

「当社の経営基本方針には『明るい会社、楽しい家庭の建設』という一節があります。明るい会社とは、楽しい家庭とはどのようなものなのか？福利厚生が大切だと考えた当社では、従業員と経営陣が協力し合い、労働条件の改善に取り組んできました。社員が安心して働ける環境を目指し、できることから形にして福利厚生に反映させています。しかしある時、これまで築いてきた制度が社員に届いていないのでは、と懸念が生まれたという。「当社は男性社員が多いのですが、男性たちは福利厚生の話を家庭でしないのではないか、と気づいたんです。会社でこんなことがあったと悩みをこぼすことはあっても、会社にこんな制度があるよ、とは奥さんに話す人は少ないのではないだろうか。」

福利厚生は社員とその家族にとって重要なものでありながら、その存在が家族に伝わらない。せっかく社員とともに作り上げてきた制度が良いものであっても、それを必要としている人に届いていない。そのような現状を課題だと感じた金尾社長は、福利厚生について一冊にまとめた「福利厚生ポケットブック」の発行を決めた。ターゲットは社員とその家族。20代や30代の若い社員も多いことから、とにかくわかりやすく、伝わりやすい内容にすることを徹底した。「制度の利用にかかわらず、まずは知ってもら

ことが大切です。知ったうえで制度を利用する、しないの選択をしてほしいと思います。」

UDトラックス道東では、一昨年新たな制度を導入した。ケガや病気に見舞われたり、自分自身や家族に介護が必要な状況に直面したりしても、国の補償に上乗せして所得を補填するといったものだ。仕事を辞めるのではなく、続ける選択肢を選べるようにとの思いが込められている。そのように日々の生活の安心を保障する一方で、日本ハムファイターズのシーズンシートや星野リゾートトマムの優待など、プライベートも楽しめるような福利厚生も充実させてきた。ワークライフバランスといった新たな価値観が生まれているように、「明るい会社、楽しい家庭」の概念も大きく変わってきていると金尾社長は話す。時代に合わせた働きやすい会社づくりをこれからも模索していきたい。今も道半ばだと、今後への意欲を覗かせた。



クナウパブリッシング代表
TEL.0155-34-1281

月刊しゅん編集部 / TEL.0155-34-2233
Slow Travel HOKKAIDO / TEL.0155-38-4188
クナウマガジン (スロウ編集部) / TEL.0155-38-4188
WEB制作・動画制作 / TEL.0155-34-1281



福利厚生ポケットブックを制作しました

クナウパブリッシングではUDトラックス道東の福利厚生についてまとめたポケットブックを制作しました。難しい言葉や専門用語はなるべく使わず、わかりやすい内容にこだわって編集。育児休暇を取得した社員のインタビューや、介護にまつわる社内アンケートも掲載し、福利厚生を身近に感じてもらえるように工夫しました。

第5回

UDトラックス道東株式会社

KUNAW NEWS LETTER



クナウのアンテナは月刊しゅんを発行する
KUNAW publishing の社外報です。

ココロにビビビッ

KUNAW NO ANTENNA

クナウのアンテナ

クナウパブリッシングの社員が見つけた、北海道・十勝の注目トピックス。あなたの心のアンテナにビビビッとくる素敵な情報をお届けするページです。



これからを見据えた、若い社員のために

KUNAW WORKS
福利厚生ポケットブック

病気になる時やケガをした時、介護が必要になった時……。そのような「もしも」の時を想定しながら働いている人はどれほどいるのだろうか。正直なところ、私はまったく意識できていないのが現状だ。病气やケガのリスクも少なければ、家族の介護もまだ遠い未来の出来事のように感じている。しかし、いざそのような場面に直面した時、これからのように働けばいいのかと思悩むことは間違いない。その時になって初めて、会社の福利厚生について知っておけばよかったと後悔するのだろうか。「福利厚生についてもっと知ってほしい。私のような若い社員を抱えながら、福利厚生の充実とその普及に力を入れている会社がある。」

帯広に本社を構える、UDトラックス道東株式会社。「お客様にとって最高の稼働の実現」を目標に掲げ、大型